

19. 豊橋市を中心とする東三河地域の産学官連携推進の場づくり

～「東三河地域産学官連携フォーラム 2006」より～

1 東三河地域の産学官連携の場

2006年10月26日(木)、27日(金)に2日間に渡り豊橋サイエンスコア(豊橋市西幸町字浜池 333-9)において「東三河地域産学官連携フォーラム 2006」が開催された。これは、愛知県と株式会社サイエンス・クリエイト¹が主催したもので、愛知大学、豊橋技術科学大学、豊橋創造大学、社団法人食品需給研究センター、財団法人科学技術交流財団、IT農業研究会、穂の国ブランド研究会、財団法人東海産業技術振興財団が共催した。

このフォーラムは、地元の大学と中小企業等が産学官連携を展開し、ベンチャービジネスの創出や企業の新事業展開の促進をねらいとして開催された。

このフォーラムの参加者は、東三河地域から生産者、食品製造業者、大学、公設試験研究機関、行政など2日間でおよそ250名に達した。



産学官連携パネルディスカッション

2 産学官連携に関するパネルディスカッションの開催

初日(10月26日)には主催者である株式会社サイエンスクリエイトをコーディネーターとし愛知大学、豊橋技術科学大学、豊橋創造大学の3学長をパネリストとする「東三河地域における産学官連携の展望」と題したパネルディスカッション及び研究者らによる技術シーズ説明会が行われた。



食料産業クラスター促進技術対策の事業説明

3 食料産業クラスター促進技術対策の紹介

また、2日目(10月27日)に技術開発の事例プレゼンテーションが午前中に行われた後、午後からは食品需給研究センターにより農林水産省が実施している食料産業クラスター促進技術対策について事業説明を行った。

さらにその後、豊橋市等の農協、食品製造業者、大学の研究者らがパネリストとなり、「食・農・環で新産業を興す」と題し、東三河地域における産学官連携によるクラスター形成などをテーマとしたパネルディスカッションが行われた。



会場参加者の様子

4 パネル展示等の開催

1 階ホールに隣接する展示会場において、地元企業や試験研究機関等が技術開発等のパネル展示を行った。

社団法人食品需給研究センターは、農林水産省が実施している食料産業クラスター事業全体及び食料産業クラスター促進技術対策、競争的資金についてのパネル展示を行った。



パネル展示会場の様子



会場参加者の様子

(文：社団法人食品需給研究センター 江端一成)

